

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110033	X-01-A-1-110033				×	×	×
授業科目	担当教員				×	×	×
心理と行動	佐々木 宏之	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎	選択 選択 選択 選択 × ×	1年 1年 1年 1年

授業目的

ここに述べた内容は、心理学に対する偏ったイメージが持たれることがある。この講義では、心理学の全体像について概説するとともに、「人間の行動や心のはたらきの一般法則」について学ぶ。また、講義中に与える課題に取り組みながら、「心とは何か」、「心を生み出す身体のしくみとはどんなものか」、「人間の心のはたらきにはどんな特徴があるのか」といった問題について考える。

ディプロマポリシーとの関連：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。

各回毎の授業内容

第1回

【授】心理学とは

心理学にはどんな分野があるかを概観し、現代の心理学の基本的な考え方について理解する。

【前・後】事前学習（2時間）：心理学に対する印象について考えてくる。事後学習（2時間）：授業後に心理学に対する印象は変化したかについて考える。

第2回

【授】心と行動

人間を含む動物が見せる行動にはどのようなものがあるか。反射や本能行動から習得的な行動、思考等の高次な行動について理解する。

【前・後】事前学習（2時間）：生物が見せる行動で最も単純なものは何かについて考えてくる。事後学習（2時間）：日常の行動のうち、反射や本能行動、習得的な行動の例を考える。

第3回

【授】心の発達

人間の行動や心の発達には、生得的（遺伝的）要因と環境的（経験的）要因の両方が影響を及ぼしていることを学ぶ。

【前・後】事前学習（2時間）：自分自身の行動のうち、経験により生じた行動と成熟により生じた行動の例について考えてくる。事後学習（30分）：初期学習が生物の行動に及ぼす影響について考察する。

第4回

【授】学習

学習とは、行動が経験により比較的永続的に変容することと定義される。この授業では、学習の一般原理、さらには運動技能の学習、社会的な学習の過程について学ぶ。

【前・後】事前学習（2時間）：自分自身の行動のうち、学習により習得された行動の例について考えてくる。事後学習（2時間）：古典的条件づけ、オペラント条件づけの例を考えること。

第5回

【授】記憶

記憶の機能と、それらを実証するための実験手法について学ぶとともに、記憶と脳の関係について理解する。

【前・後】事前学習（2時間）：自分自身を振り返り、最も古い記憶内容を想い出してくる。事後学習（2時間）：エピソード記憶・意味記憶、手続き的記憶の例を考える。

第6回

【授】視知覚①

人目の構造、色や明るさや形を知覚するしくみについて学ぶことにより、私たちの知覚は外界のコピーではなく、能動的な過程であることを理解する。

【前・後】事前学習（2時間）：2つの図を観察し何が見えるかを考えてくる。事後学習（2時間）：人目の目とカメラの構造を比較し、共通点と相違点について考察する。

第7回

【授】視知覚②

錯視、立体視、動きを知覚するしくみと、知識や先行経験が知覚に及ぼす影響について学ぶことにより、私たちの知覚は外界のコピーではなく、能動的な過程であることを理解する。

【前・後】事前学習（2時間）：錯視図を観察してくること。事後学習（2時間）：錯視の現象を生かしたデザインについて考える。

第8回

【授】聴覚・触覚

音を聴くしくみとして聴覚器官の構造、言語音の知覚、音源定位について学ぶ。また、触覚を感じるしくみとして皮膚の受容器と大脳皮質の一次体性感覚野の構造についても学ぶ。

【前・後】事前学習（2時間）：聴覚や触覚によって得られる情報にはどのようなものがあるかについて考えてくる。事後学習（30分）：触覚2点閾の実験をおこない結果について考察する。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							90
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							0
授業態度・授業への参加							0
成果発表（口頭・実技）							0
演習							0
その他							0

・定期試験は、持ち込み不可とする。

・授業中に実施する課題(10%)と定期試験(90%)により、総合的に評価する。

・課題に対するフィードバックの方法：課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

教科書参考書

特に教科書は指定せず、必要な資料は授業中に配布する。

受講に当たっての留意事項

特になし。

学習到達目標

- ・心理学に関する基礎的な知識を身につけること。
- ・日常の行動を心理学の視点から分析すること。

JABEE

特になし。

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習